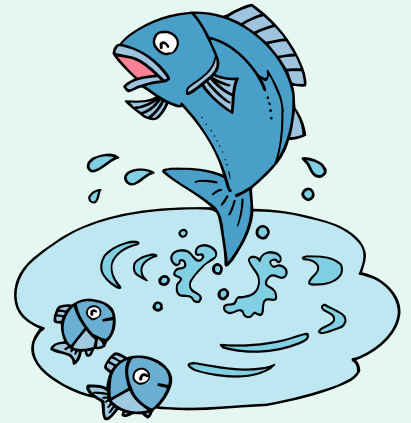


環境にやさしい放流を考えてみよう！

魚を川や池などに放流するってよく聞いたりするよね。「たくさん魚がふえればいいな」「たくさん魚のすむ、いい環境にしたい！」「たくさん魚がすめるような環境に変えていきたい」…。このような願いをもっている人は多いんじゃないかな？



では、環境にやさしい放流ってどうしたらいいんだろう？

○魚のすんでいる環境や生活を考えてみよう！

どのような生活をしているかな？川の上流や下流、流れの速いところやゆるやかなところ、どのような場所がすきかな？

○魚の少なくなった原因を調べてみよう！

魚の少なくなった原因がまだ残っているのに、放流しても魚がかわいそうだね。何が原因で少なくなったのか調べてみよう！

○昔からすんでいる生きものかどうか調べよう！

昔からすんでいない魚が突然やってきたら、他の生きものがびっくりしたり、食べられたりするかもしれないね。昔からすんでいるものでなかったら放流するのはやめようね。

(*昔からすんでいなかったところに人間が放した生きものを「外来種」とか「移入種」といいます。ブラックバスが問題になっているのは知ってるよね？)

○もともとその場所にすんでいたものにできるだけ近いものを放流しよう！

たとえば寒いところと暖かいところでは、同じ種類でも、違う特徴をもっていることがあるんだよ。みんなのよく知っているメダカも、日本で10個のグループに分けることができるんだよ！遠くからとってきた魚を放流すると、三重県に特徴的な性質に、よその性質が混ざり…。そうすると三重のメダカの特徴が失われてしまう。そんなの悲しいよね。(*日本では「北日本」と「南日本」の大きく2つのグループに分かれ、さらに「南日本」のグループは9地域のグループに分かれるよ)

○地元のおじいさんやおばあさんに、昔の川の様子を聞いてみよう！

昔はすんでいたのに、今は環境が悪くなっていなくなってしまった生きものや、昔と今と川的环境も変わっているところもあるよ。比べてみるとおもしろいことがわかるかもしれないよ。



あなたの近くの川や池を調べてみよう！どんな生きものがすんでいるのかな？もちろん、小さな子は大人と一緒にでかけようね！

こどもエコクラスからのお知らせ

壁新聞に応募して、 全国フェスティバルに行こう！

この一年間のクラブの活動をまとめて壁新聞に応募すると、応募してくれたクラブの中から1クラブを全国フェスティバルにご招待！

平成17年

3月

26日(土) 南知多ビーチランド
(愛知県美浜町)

27日(日) 半田市福祉文化会館
(愛知県半田市)

★しめまり★
★各エコクラブの
★サポーターさんは
★ **1月7日(金)** ★
★ までに市町村事務局に提出してね。 ★